

(2) 追肥による後期栄養維持

ア 品種別出穂期の葉色と追肥のめやす

品種名	出穂期葉色※	分施肥系の場合	全量基肥の場合
ゆきん子舞	36~38	①2回目の穂肥後、葉色を確認 ②1か月予想を確認 →出穂前後高温確率が40%以上で出穂期の葉色のめやすを下回ると予想される場合は、N成分で1kg/10a程度をめやすに追肥し、出穂期葉色を確保	①出穂前23日以降葉色を確認 ②出穂期葉色のめやすを下回ると予想される場合は追肥し、出穂期のめやす葉色を確保
つきあかり	40~42		
こしいぶき	34		
新之助	34~36		

※出穂期の葉色は止葉を測定

イ コシヒカリの穂肥追加のめやす ~出穂期の葉色32~34を確保するために~

施肥体系		判断時期と葉色のめやす		施肥時期と施肥量のめやす		
		出穂前	葉色	出穂前	施用量N成分	
分 施 体 系	慣行栽培 ※3回目：化成肥料施用	3日	31以下	3日	1kg/10aを上限	
	5割減栽培 ※3回目：有機50%肥料施用	6日	33以下	3日	1kg/10a	
	5割減栽培 3回目：有機 100%肥料施用	標準的な 地力のほ場	6日	33以下	6~3日	1kg/10a
		低地力の ほ場	幼穂 形成期	31未満	6~3日	2kg/10a
全 量 基 肥	慣行栽培 ※追肥：化成肥料施用	幼穂形成期 以降	出穂期に32 以下予想	10日前ま で	1kg/10a程度	
	5割減栽培 ※追肥：有機100%肥料使用	10日前頃	30以下	10~5日	2kg/10a	

ウ 流し込み施肥の活用

- 田面の高低差が大きいほ場では、施肥ムラが大きくなるので行わない。
- 肥料の流入時間が長くなると施肥ムラが生じるので、肥料の使用上の注意事項を確認するとともに、流水を開始し目標水位に達するまでの時間を事前確認してから実施する。
- 施肥後3日程度は湛水状態が維持できるほ場で行う。
- 施肥前の田面水はヒタヒタ状態に落水しておき、水尻を閉じてかん水と同時に肥料を流し込む。

3 ケイ酸追肥

出穂40日前から18日前の間にケイ酸質資材を散布することにより、高温年での品質低下を軽減できる。

(右図 ケイ酸追肥時期別の整粒歩合)

